

令和5年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

| | |
|---------------|--|
| ふ り が な | せかいいさん「にっこうのしゃじ」のげんかんぐちにおけるきょうりょうほしゅうじぎょう いっばんこくどう119ごう にっこうしにっこうばし |
| 1. 事業(施策)の名称 | 世界遺産「日光の社寺」の玄関口における橋梁補修事業 一般国道 119 号 日光市日光橋 |
| 2. 事業(施策)実施期間 | 令和4年5月25日 ～ 令和6年2月29日 |
| 3. 事業費(工事費) | 約420百万円 |
| 4. キーワード | 橋梁長寿命化、世界遺産「日光の社寺」、神橋、情報発信 |
| 5. 事業概要 | 本事業は、共に緊急輸送道路である国道 120 号と県道日光今市線との交差点部であり、世界遺産「日光の社寺」の玄関口に位置し、防災上・観光上において交通の重要な箇所である。日光橋は昭和 37(1962)年に架設されてから事業実施に至るまで 60 年経過し老朽化が著しい橋梁で、定期点検の結果、早期に対策が必要となったことから、長寿命化を図るための橋梁補修を実施するとともにバリアフリー化も実施した。 |

| 6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」 | | |
|--|--|---|
| ハード [○] orソフト [○] の分類 :該当する方に○印 | ① ハード面 に秀でた事業 | ② ソフト面 に秀でた取組 |
| アピールする 1)「手段」 | (b) 既往技術の創意工夫、活用 () () | (c) 情報発信 () () () |
| アピールする 2)「秀でた成果」 | (a) 当該事業による本来目的の効果 (e) 良好な景観形成の実現 (f) 地域の活性化 (g) バリアフリー・ユニバーサルデザインの 実現 | (i) その他(魅力発信) (l) その他(交通渋滞の緩和) () () |

| | |
|---------------|--|
| 7. 特にアピールしたい点 | <p>橋面上の施工においては、昼夜間施工及び日光宇都宮道路の全面通行止め時期と重なるといった課題があった中で通行の影響を極力抑えるための情報発信や施工順序を工夫したうえで、工事を実施した。さらに、工事中は周囲の景観との調和を図ること、工事後は橋梁の美しい外観も形成されたことにより、世界遺産「日光の社寺」の玄関口にふさわしい街づくりに寄与した。</p> <p>本事業箇所は国際的な観光名所である神橋の直近で観光客も多く、地元住民及び観光客に情報発信を行うため、工事の実施内容や進捗情報を、デジタルサイネージを使用しリアルタイムで現場に掲示した。また、地元住民及び観光客に建設工事や建設業界の理解を深め、日光の魅力を発信することができた。</p> |
|---------------|--|

8. 事業を代表する写真及びキャプション

【橋面補修後】

安全・安心な通行の確保と美しい景観の形成(奥は神橋)



【橋面補修後】

観光客の利用状況(奥は神橋)



9. 事業内容・添付資料

【事業概要】

日光橋の上部構造は単純合成鋼板桁、下部構造は重力式橋台の構造形式で昭和37年に架設され、事業実施に至るまで60年経過した橋梁である。定期点検で、主に鋼材・支承・伸縮装置の腐食、床版の剥離・鉄筋露出、歩道部の浮きが確認されたため、橋梁補修を行い、長寿命化を図るものである。

主な補修内容: 鋼材・支承補修工、塗装塗替え工、伸縮装置取替工、断面修復工、舗装打替え工、橋面防水工

【事業成果】

- ① -1)-(b) 既往技術の創意工夫、活用
 - ・日光橋の腐食や劣化原因は主に舗装上面から床版内部及び鋼材への雨水浸透によるものであることから、防水性及び耐久性が高い複合防水工による施工を実施した。
- ① -2)-(a) 当該事業による本来目的の効果
 - ・本事業により、橋梁の長寿命化を図り、地域住民や道路利用者の安全な通行を確保した。
- ① -2)-(e) 良好な景観形成の実現
 - ・橋面の補修や塗装塗替えの実施により、橋梁の外観が良好なものとなり、周囲の観光名所との調和を図ることができた。
- ① -2)-(f) 地域の活性化
 - ・橋梁補修の実施により、世界遺産「日光の社寺」の玄関口としてふさわしい街づくりに寄与した。
- ① -2)-(g) バリアフリー・ユニバーサルデザインの実現
 - ・橋梁歩道部にて滑り止め舗装の施工や点字ブロックを更新することにより、バリアフリー化が図られた。
- ② -1)-(c) 情報発信
 - ・主に当該事務所 HP 及び X(旧 Twitter)、工事内容の周知のために現場に設置したデジタルサイネージを使用し、地域住民及び道路利用者に工事内容や進捗状況の情報発信をした。
- ② -2)-(i) その他(魅力発信)
 - ・情報発信の実施により、地元住民及び観光客に建設工事や建設業界の理解を深め、日光の魅力を発信することができた。
- ② -2)-(l) その他(交通渋滞の緩和)
 - ・情報発信の実施により、地域住民及び道路利用者に工事実施内容や進捗状況を周知することができ、交通渋滞の緩和を図ることができた。また、周囲の観光名所にアクセスできる日光宇都宮道路での工事による全面通行止めの時期には、片側通行規制を連続的にしないよう作業スケジュールを組むことで、交通渋滞の緩和を図ることができた。

9. 事業内容・添付資料



【補修前】
支承部の
腐食状況



【補修後】
支承部
防錆工



【補修前】
終点側
下り線の
橋面劣化
状況



【補修後】
終点側
下り線の
橋面状況
(車道: As
舗装、歩
道: 滑り止
め舗装及
び点字ブ
ロック)



【通行規制】
片側通行
規制状況



【情報発信】
デジタル
サイネー
ジによる
工事実施
内容の周
知



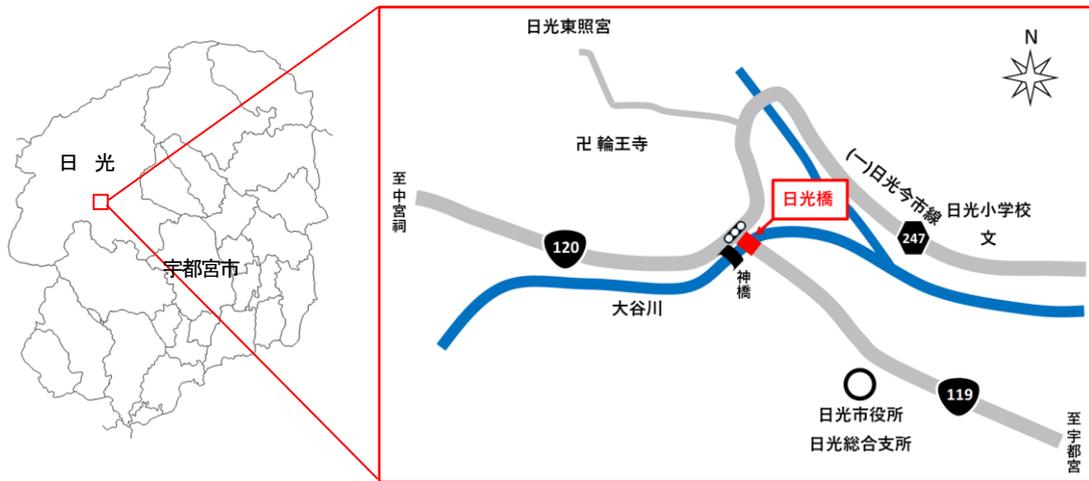
【現場環
境改善】
塗装実施
中の仮設
設備(クリ
ーナム)



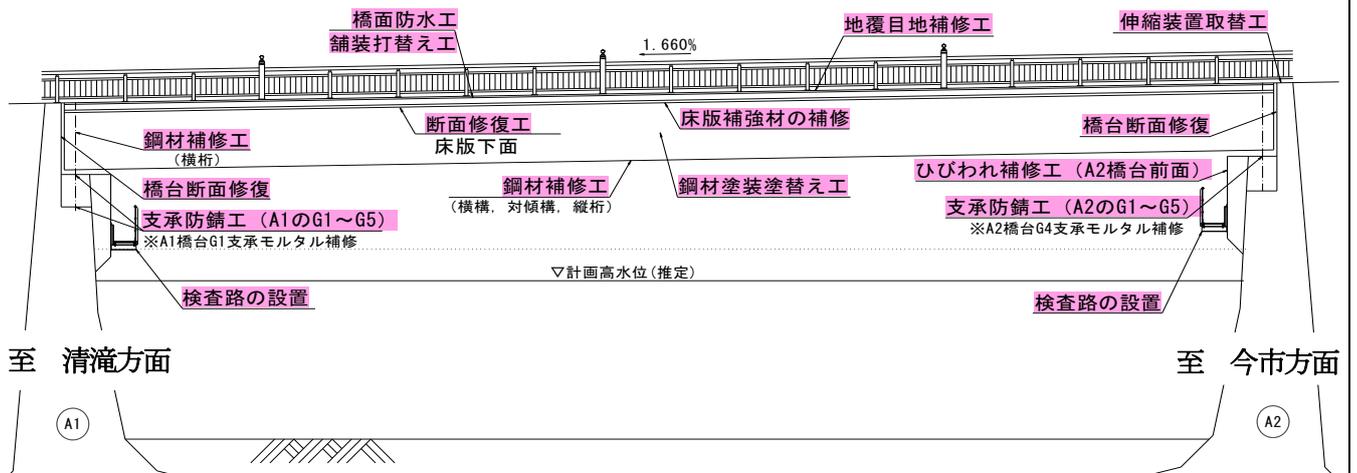
【現場環
境改善】
現場事務
所前のベ
ンチの設
置状況

9. 事業内容・添付資料

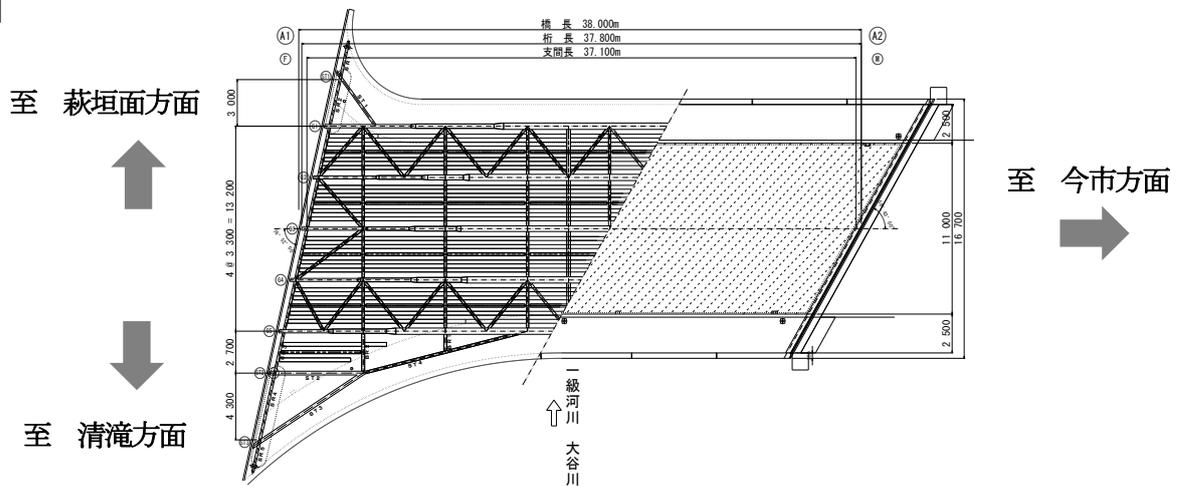
【位置図】



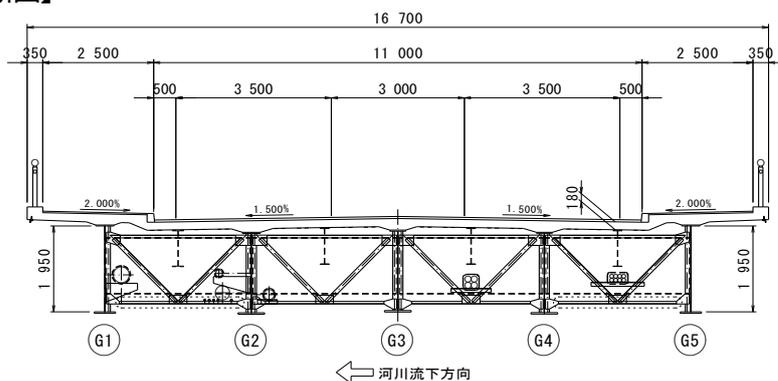
【側面図】



【平面図】



【標準横断面図】



橋長：38.0m
 幅員：16.7m
 車道：10.0m
 歩道：2.5m×2(両側)